

ごあいさつ

GREETING



さいたま市スポーツ少年団
バスケットボール部会 部会長

兵藤 明子



株式会社リソー教育
代表取締役社長

平野 滋紀

「TOMAS CUP 2019 第8回 さいたまミニバスケットボール大会」が多くの皆様のご協力を賜り、開催できますことは大きな喜びでございます。

さいたま市スポーツ少年団には、15種目のスポーツ団体が登録しておりますが、なかでもサッカー、軟式野球と並んでバスケットボールは、登録数も多く大変人気のあるスポーツです。

バスケットボール部会では、春季大会・秋季大会（リプロカップ）・シティカップ招待大会・U10（4年生以下）大会・冬季大会等を、埼玉県バスケットボール協会U12部会との連携を取りながら開催しております。また、中学生対象のジュニアリーダーバスケットボール大会も行っております。

トーマスカップは、選手数が少なく、試合の機会の少ないチームでも参加することができます。スポーツ少年団の大会には、競技力の向上のみならず、団員相互の交流と友情を深めるという大きな目的があります。多くのチームが一堂に会し、試合経験や交流をできることで、よりいっそう仲間と協力することの大切さや人への思いやりの心を育むこと、周囲への感謝の気持ちが生まれること等々、多くのことが期待されます。

さて、いよいよ来年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。さいたま市では、サッカーとバスケットボールの試合が予定されておりますが、特にバスケットボールは、さいたまスーパーアリーナにおいてオリンピックの全試合が行われます。

日本人のNBA選手が増えていく予感があり、益々バスケットボールは盛んになっていくでしょう。

この大会に参加される皆さんも、大きな目標を持って、日々の努力を重ねてください。

終わりになりますが、今大会の開催にあたりご尽力をいただいた、株式会社リソー教育様、リソー教育グループ様、一般社団法人バスケットボールジャパンアカデミー様、運営に携わるすべての関係者の皆様に感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、さいたまのミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で8回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後ともいえるこの大会を、毎年このような形で応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加にいたるまでの練習、トレーニングを通じて、バスケット技術の上達や体力の向上だけでなく、これから生きていくうえでとても大切なフェアプレーの精神やスポーツマンシップをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

私たちリソー教育グループは、学習塾の会社ですが「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。勉強ももちろん大切ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

ワールドカップでは、男子日本代表の活躍に多くの注目が集まりました。バスケットボール界においても、日本の選手が世界で活躍するということが夢ではなくなってきているなか、今日の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さんのチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。